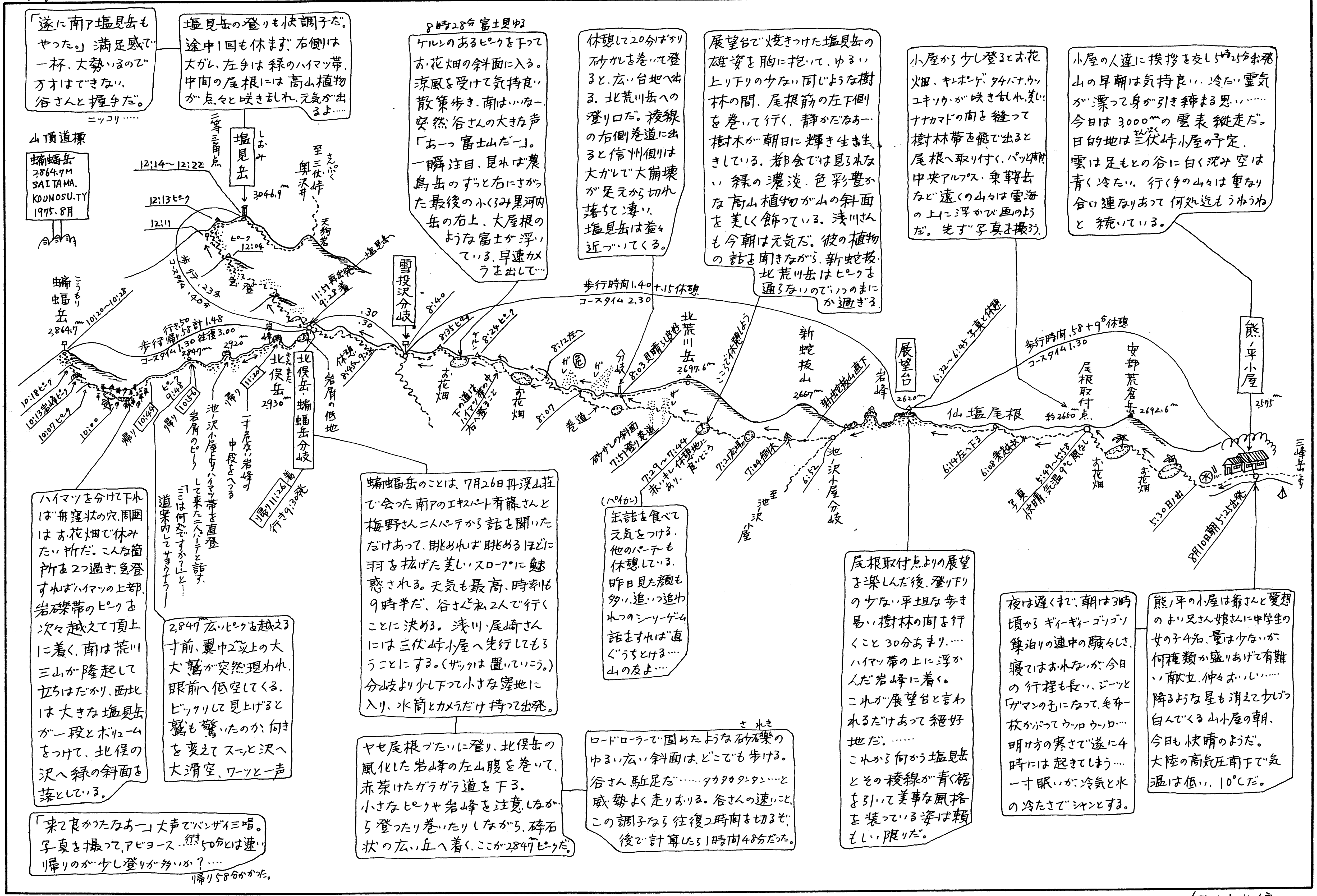
南アルプス 広河原～奥沢井（北岳・間ノ岳・塩見岳縦走コース）（8月10日）2日目 熊ノ平小屋～展望台～（往復）蝙蝠岳～塩見岳～


山頂道標
蝙蝠岳
2864.7M
SAITAMA.
KOUNOSU.TY
1975.8月
ニッコリ……
三等三角点
塩見岳
しおみ
3046.9m
12:14～12:22
12:13ピーク
12:11
ピーク
12:04
至 三伏峠 奥沢井
さんぷく
天狗岩
塩見岳へ
急登
歩行 .23分
コースタイム .40分
11:51再出発
9:28着
蝙蝠岳
こうもり
2864.7m
10:20～10:28
行き50 帰り58 計1.48
歩行 帰り1.30 往復3.00
コースタイム
10:18ピーク
10:13岩峰ピーク
10:07ピーク
10:00
帰り 10:44
ピーク 9:48
帰り 10:56
2847m
2920m
岩峰
池ノ沢小屋よりハイマツ帯を直登して来た二人パーテと話す。「ここは何処ですか？」と……道案内してサヨウナラー
岩屑のピーク
帰り 11:20
一寸危ない岩峰の中段をへつる
北俣岳
きたまた
2930m
北俣岳、蝙蝠岳分岐
帰り11:26着
行き9:30発
岩屑の低地
休憩 8:45～9:03
.30
.30
雪投沢分岐
8:40
8時28分 富士見ゆる
8:35ピーク
ケルン 8:24ピーク
お花畑
下の道はハイマツ帯の中右へ登ること
お花畑
8:12左へ
8:07
巻道
ガレ
危
ガレ
分岐
8:03見晴らし良好
北荒川岳
2697.6m
歩行時間1.40＋.15休憩
コースタイム 2.30
砂ザレの斜面
7:51登り巻道
ザレ
ここらで休憩しよう
7:29～7:44
赤いキレ 休憩地に良いところ
（パイカン）
7:21広場
7:04倒木
6:52
至 池ノ沢小屋
池ノ沢小屋分岐
新蛇抜山
2667m
新蛇抜山直下
岩峰
展望台
2620m
6:32～6:45 写真と休憩
仙塩尾根
歩行時間.58＋9分休憩
コースタイム1.30
6:14左へ下る
6:08赤テープ
約2650m
尾根取付点
写真 5:49～5:58
快晴 気温9°C 風なし
安部荒倉岳
2692.6m
お花畑
お花畑
5:30日ノ出
8月10日朝5:25出発
水
熊ノ平小屋
2575m
三峰岳より

「遂に南ア塩見岳もやった。」満足感で一杯、大勢いるので万才はできない。谷さんと握手だ。

塩見岳の登りも快調子だ。途中1回も休まず、右側は大ガレ、左手は緑のハイマツ帯、中間の尾根には高山植物が点々と咲き乱れ、元気が出るよ……

8時28分 富士見ゆる

ケルンのあるピークを下ってお花畑の斜面に入る。涼風を受けて気持良い散策歩き、南はいいなー。突然谷さんの大きな声「あーっ富士山だー」。一瞬注目、見れば農鳥岳のずっと右にさがった最後のふくらみ黒河内岳の右上、大屋根のような富士が浮いている、早速カメラを出して…

休憩して20分ばかり砂ガレを巻いて登ると、広い台地へ出る。北荒川岳への登り口だ。稜線の右側巻道に出ると信州側は大ガレで大崩壊が足元から切れ落ちて凄い。塩見岳は益々近づいてくる。

展望台で焼きつけた塩見岳の雄姿を胸に抱いて、ゆるい上り下りの少ない同じような樹林の間、尾根筋の左下側を巻いて行く、静かだなあー。樹木が朝日に輝き生き生きしている。都会では見られない緑の濃淡、色彩豊かな高山植物が山の斜面を美しく飾っている。浅川さんも今朝は元気だ。彼の植物の話を聞きながら、新蛇抜、北荒川岳はピークを通らないのでいつのまにか過ぎる。

小屋から少し登るとお花畑、キンポーゲ、タチバナ、ウツユキソウ、が咲き乱れ、美しい。ナナカマドの間を縫って樹林帯を飛び出ると尾根へ取り付く、パッと開け中央アルプス、乗鞍岳など遠くの山々は雲海の上に浮かび画のようだ。先ず写真を撮ろう。

小屋の人達に挨拶を交し5時25分出発。山の早朝は気持良い、冷たい霊気が漂って身が引き締まる思い……今日は3,000mの雲表縦走だ。目的地は三伏（さんぷく）峠小屋の予定、雲は足もとの谷に白く沈み空は青く冷たい。行く手の山々は重なり合い連なりあって何処迄もうねうねと続いている。

ハイマツを分けて下ればお釜状の穴、周囲はお花畑で休みたい所だ。こんな箇所を2つ過ぎ、急登すればハイマツの上部、岩礫帯のピークを次々越えて頂上に着く。南は荒川三山が隆起して立ちはだかり、西北は大きな塩見岳が一段とボリュームをつけて、北俣の沢へ緑の斜面を落としている。

2,847m広いピークを越える寸前、翼巾2m以上の大鷲が突然現われ、眼前へ低空してくる。ビックリして見上げると鷲も驚いたのか、向きを変えてスーッと沢へ大滑空、ワーッと一声

「来て良かったなあー」大声でバンザイ三唱。写真を撮って、アビヨース……行き50分とは速い帰りのが少し登りが多いか？……

帰り58分かかった。

蝙蝠岳のことは、7月26日丹沢山荘で会った南アのエキスパート斉藤さんと梅野さん二人パーテから話を聞いただけあって、眺めれば眺めるほどに羽を拡げた美しいスロープに魅惑される。天気も最高、時刻も9時半だ、谷さんと私2人で行くことに決める。浅川・尾崎さんには三伏峠小屋へ先行してもらうことにする。（ザックは置いていこう。）分岐より少し下って小さな窪地に入り、水筒とカメラだけ持って出発。

ヤセ尾根づたいに登り、北俣岳の風化した岩峰の左山腹を巻いて、赤茶けたガラガラ道を下る。小さなピークや岩峰を注意しながら登ったり巻いたりしながら、砕石状の広い丘へ着く、ここが2,847mピークだ。

ロードローラーで固めたような砂礫（されき）のゆるい広い斜面は、どこでも歩ける。谷さん駈足だ……タカタカタンタン……と威勢よく走りおりる。谷さんの速いこと、この調子なら往復2時間を切るぞ、後で計算したら1時間48分だった。

缶詰を食べて元気をつける、他のパーテーも休憩している、昨日見た顔も多い、追いつ追われつのシーソーゲーム話をすれば直ぐうちとける……山の友よ……

尾根取付点よりの展望を楽しんだ後、登り下りの少ない平坦な歩き易い樹林の間を行くこと30分あまり……ハイマツ帯の上に浮かんだ岩峰に着く。これが展望台と言われるだけあって絶好地だ。……これから向かう塩見岳とその稜線が青く裾を引いて見事な風格を装っている姿は頼もしい限りだ。

夜は遅くまで、朝は3時頃からギィーギィーゴソゴソ集泊りの連中の騒々しさ、寝てはおれないが、今日の行程も長い、ジーッと「ガマンの子」になって、毛布一枚かぶってウツロウツロ…明け方の寒さで遂に4時には起きてしまう……一寸眠いが、冷気と水の冷たさでシャンとする。

熊ノ平の小屋は爺さんと愛想のよい兄さん娘さんに中学生の女の子4名、量は少ないが何種類か盛りあげて有難い献立、仲々おいしい……降るような星も消えて少しずつ白んでくる山小屋の朝、今日も快晴のようだ。大陸の高気圧南下で気温は低い、10°Cだ。

奥村之信